

ゆうあい

あなたがいる、わたし、がある。

FEBRUARY 2024

2

vol.571

特集

祝成人・祝還暦
ゆうあい読者アンケート報告



1月1日に発生した令和6年能登半島地震により亡くなられた方々に
心から哀悼の意を表しますとともに、被災されたすべての方々にお見舞いを申し上げます。

様々な状況で不安な暮らしを送る方々が安心できる暮らしを送られますよう、

また、寒さの中ですが笑顔が戻りますよう、
一日でも早い復旧を心よりお祈り申し上げます。



社会福祉法人侑愛会
学校法人ゆうあい学園
www.yuai.jp



社会福祉法人侑愛会
学校法人ゆうあい学園
www.yuai.jp



地域に暮らす全ての子どもと家族の幸せを目指して ～ 私たちの役割 ～



令和5年4月に「こども家庭庁」が、「こどもまんなか社会の実現」を目指し、こどもの視点に立て、こども施策に強力かつ専一に独立した行政組織として創設されました。「つくしんぼ学級」や「おひさま」が、今まで取り組んできたことを改めて整理し、今後目指すべき方向性を考えたいと思います。

社会情勢の変化

日本の人口は、2010年をピークに減少傾向にあり、出生率が下がってこどもの数は減っています。「こども家庭庁」創設の背景に少子化対策があることは否定できません。一方、発達に後れや偏りがあるこどもの数は真逆で、「通常の学級に在籍する特別な教育的支援を必要とする児童生徒に関する調査」では、2022年には6.3%だった割合が十年後の2032年には8.8%になっています。特別支援学級や特別支援学校に通っている児童生徒を加えると1割を超えるこどもたちが、何らかの支援を必要としている現状が伺えます。

児童発達支援センターでの支援

平成24年度児童福祉法の改正があり、今までの知的障がい、肢体不自由児、難聴幼児と障がい種別ごとに分けられていた児童の通所サービスが一元化され、さらに令和6年度より医療型、福祉型に分かれていた児童発達支援センターも一元化されます。つくしんぼ学級は、法改正以前より障がい種別に拘わらず、肢体不自由や視覚障がい、聴覚障がい、医ケアが必要な園児が利用していました。年齢が低いこどもたちは、障がい種別で分けることは難しく、それぞれの得意不得意をさぐり、得意な力を活かしながら、もともと持っている力を引き出す支援を、ずっと心掛けてきています。本人が楽しいと感じる活動の中で、将来に渡って役立つスキルを身につけてもらえるよう、丁寧にアセスメントしながら、個々に合わせたオリジナルな支援を目指しています。

家族と一緒

こどもにとって家族の存在は重要です。そして、日々子育てに奮闘されているのも家族です。そんな家族とタッグを組んで、子育てを支援していくことは、本人支援同様私たちの業務の大きな柱の一つです。今日の前の家族が必要としている情報を提供しながら、それぞれの家庭に合わせた支援を一緒に考えていくことで、こどもを含めた家族全員の幸せを目指すことが求められています。

地域支援

園を利用しているこどもたちを取り巻く、地域（並行通園先、保健師、主治医、卒園先の支援者等）との連携は当然ですが、それ以外にも「保育所等訪問支援事業」で、地域の認定こども園、幼稚園、学校等へ訪問し、直接こどもの支援をしたり、その支援者とカンファレンスを行うことで、こどもが所属する集団でその子らしく過ごせるようお手伝いをしています。函館市、北斗市、七飯町から委託されている「子ども発達支援センター事業」や北海道から委託を受けている「専門支援事業」では、まだ福祉のサービスに繋がっていないこどもたちに関する、相談や園訪問等を行っています。



私たちの役割

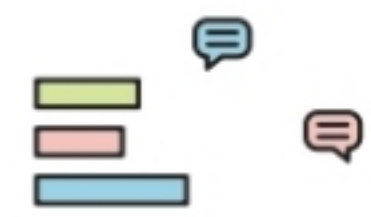
この地域のどきどきに生まれても、安心して子育てができる。そんな地域作りを目指して、地域の支援力の向上と、家族が相談できる場の整備を続けたいと思っています。さらに、こどもを支える各種サービスだけでなく、次のステージにスムーズに繋げるよう、分野の違うサービス（教育関係、就労関係、成人の事業所、ヘルパー、ステーション等）とも連携して、こどもたちの豊かな人生を応援していくことが、私たちに求められていると思っています。



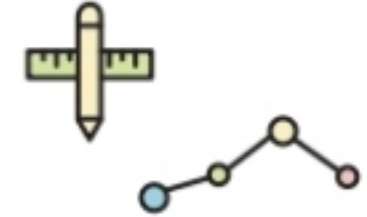
児童発達支援センターつくしんぼ学級
児童発達支援事業所おひさま
園長 金沢京子



乳幼児検診事業への協力、家族や園の先生方への研修会の企画、各協議会に参加して他のサービスと連携し役割分担を図る等の他に、道南地域2市11町に訪問し、実際にこどもと会って遊びながらアセスメントをして、家族や支援者の相談に応じています。専門支援事業には、侑愛会の各事業所からベテランのスタッフが協力して、この事業を支えています。



ゆうあい読者アンケート 集計結果



ゆうあいでは昨年10月に読者アンケートを実施いたしました。
みなさまからの貴重なご意見・ご感想をありがとうございました。
この読者アンケート集計結果は読者の皆様に対しておこなった
アンケート結果をまとめたもので、今後のゆうあい作成に役立て
て参りたいと思います。

アンケート配布方法

R5.8月号とアンケート用紙を配布
(用紙またはQRコードからの回答)

アンケート回収期間

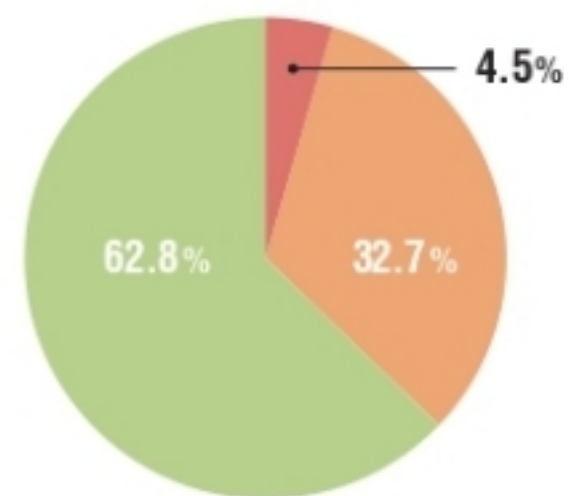
R5.8～10月

アンケート配布数

2110部
回収数149(用紙回答138、QR回答18) 回収率7%

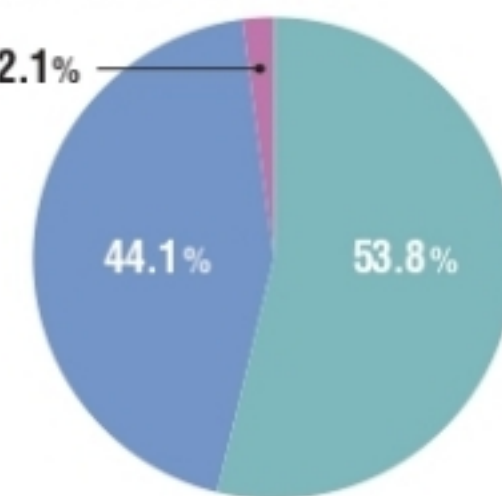
01 | 回答者

●利用者ご本人 ●ご家族 ●職員



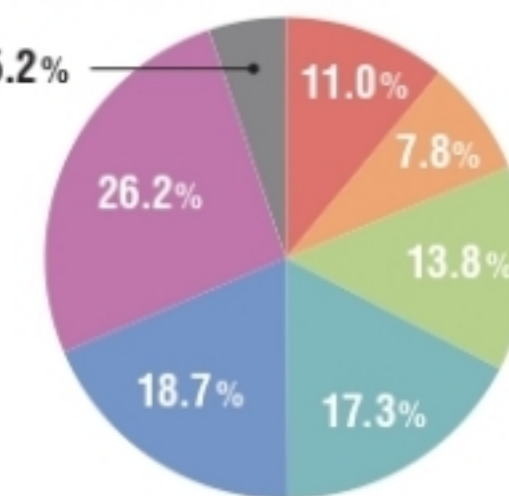
02 | どの程度目を通すか

●全部読む ●興味のある部分だけ読む
●所属事業所のみ読む



03 | 楽しみにしている記事は

●表紙 ●巻頭 ●スペースゆう ●紙ふうせん
●特集 ●郷のたより ●くりっぶボード



04 | 03 の質問でチェックをした記事に関するご意見・ご感想をお聞かせください

【表紙】工夫をこらして
いて素敵だと思います。

【巻頭】制度についてわ
かりやすく説明して頂き
勉強になります。昨今増
えている職員による虐待
の実態や背景が分かり
勉強になりました。

【スペースゆう、紙ふうせん】
スペースゆうは保護者の方の
想いを聞ける貴重な場と感じ
ています。利用者やご家族の
思いを知ったり気づかされる
ことが多いと思います。紙ふう
せんでは同じ職員としての視
点ですが、色々なひとがいる
ということや、色々な立場から
の話が興味深いです。

【特集】アート作品や法人
内の取り組み、いろいろな
座談会などバリエーショ
ンがあり良いと思う。

【くりっぶボード】人と人とのつながり
のコーナーは視野が広がります。今
後も継続をお願いいたします。

【郷のたより】普段みれない他事業所の取
り組みを知ることができ嬉しい。他事業所
の行事や取り組みの記事が掲載されてお
り参考にしています。

【その他】侑愛会のこと、障がい
者、その家族のことが知れてい
つも楽しみにしています。これ
からも情報提供お願いします。

05 | これまでゆうあいに印象に残っている記事

普段の余暇活動から生まれた作品だと思いま
すが、だからこそどの作品も生き生きとしており、仕
事の都合でなかなか作品展に行けないので記事
で紹介していただきとてもありがたかったです。

「スペースゆう」の、保護者の
記事がとても印象に残って
います。切り抜いて取ってあり、
今でも時々みえています。

郷のたよりでは各園の行事紹介をしていますが、ど
ういった行事や余暇を行っているのか参考になり
ますし、マナー防止になるのかなと感じています。

職員さんの紹介は
皆さん、希望にあふ
れて私も「がんばっ
てね、よろしくね!!」
と嬉しくなります。

利用されている方々が働く職
場のインタビュー記事。利用
者さんの作品展開催に伴い、
作品を特集された記事が特
に印象的でした。

ご家族が執筆された
記事は共感できる所
があって涙が出ると
きがあります。

成人、還暦など人生節目の喜びを一緒にお祝いし
たい気持ちになります。

管理職や職員の方々の体験談はいつも興味深いと思
い読んでいます。

06 | 今後ゆうあいでも特集してほしい記事

リハビリの取り組み、老化
予防の取り組み、食事内容

各施設の活動内容やスタッフ、利用者・家族の
思いなどを写真や一言などで特集してほしい。

ゆうあいでも子育てしながら働いている活躍している女
性職員にフォーカスした記事があっても良いと思う

利用者さんや職員さん一人ひとりの
思いやなにげない日常で感じる嬉し
いこと、つらいこと、好きなこと、苦手
なことでも取り上げてほしい

利用者たちも高齢化している施設
が多くなっていて保護者は行先が
心配です。そんなことを取り上げて
頂ければと思います

紙ふうせんのコーナー毎回楽し
みにしています。できれば、あ
らゆる職種の方々の紹介も加
えていただければと思います。

組織が大きいので
郷のたよりなどで
はやや偏りを感じ
ることがあります。



社会福祉法人侑愛会
学校法人ゆうあい学園
www.yuai.jp



社会福祉法人侑愛会
学校法人ゆうあい学園
www.yuai.jp



社会福祉法人侑愛会
学校法人ゆうあい学園
www.yuai.jp